

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

2021/2022 Annual Cruise Report of the T/V
Umitaka Maru Voyage : 【UM-21-08】 Cruise
Report

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/2641

4. 【UM-21-08】航海報告 (UM-21-08 Cruise Report)

4.1 航海の概要および航海日程 (Cruise Summary and Cruise Itinerary)

【UM-21-08】航海は、海洋科学専攻科生 37 名が乗船し、令和 3 年 12 月 6 日から令和 4 年 1 月 27 日までの 53 日間行われた。全行程において航海実習・機関実習・観測実習等の各実習を行い、途中、ホバート（オーストラリア）へ寄港した。

東京出港後、鮪延縄操業に備えて漁具の作製を行い、太平洋にて 12 月 16 日から 12 月 22 日の 7 日間にわたりマグロ延縄操業を行った。投縄後の XCTD 観測や揚縄時に回収した深度計により、漁場での観測データと漁獲との相関も確認した。操業海域において、落水者に見立てたブイを回収する操船実習を行った。

本学及び他大学等の調査員が乗船し、本学と国立極地研究所による南大洋の共同海洋調査を実施する予定であったが、ホバートでの新型コロナウイルス感染者の増大、また、これに伴う医療機関の外来診療受け入れ停止の情報を受け、学生・調査員及び乗組員の上陸による休養ができないこと及び安全性確保の観点から、予定を変更し東京へ帰港した。

航海を通して、漂流ごみの目視観測、ニューズトンネットによるマイクロプラスチックの採取を行った。目視観測の累計時間は 225 時間、ニューズトンネットの曳網回数は計 25 回であった。

Table 4.1 実施表 (Cruise Itinerary)

Port	Distance (miles)	Arrival Date	Departure Date
Tokyo	-	-	Dec 6, 2021
	8.8		
Urayasu offing	2248.0	Dec 6, 2021	Dec 7, 2021
Fishing ground	3411.3	Dec 16, 2021	Dec 22, 2021
Hobart offing	3.8	Jan 2, 2022	Jan 3, 2022
Hobart	5601.0	Jan 3, 2022	Jan 7, 2022
Tokyo ku Section4 Quarantine Anchorage	6.4	Jan 25, 2022	Jan 27, 2022
Tokyo	-	Jan 27, 2022	-
Total Distance	11279.3		

4.2 教員・調査員・学生人数 (The Number of Faculty members, Scientists and Cadets on Board)

教 員

東京海洋大学 3名

国立極地研究所 2名

創価大学 1名

調査員

東京海洋大学 2名

創価大学 1名

株式会社マリンワークジャパン 1名

乗船実習学生

海洋科学専攻科 37名

4.3 航跡図 (Track Chart)

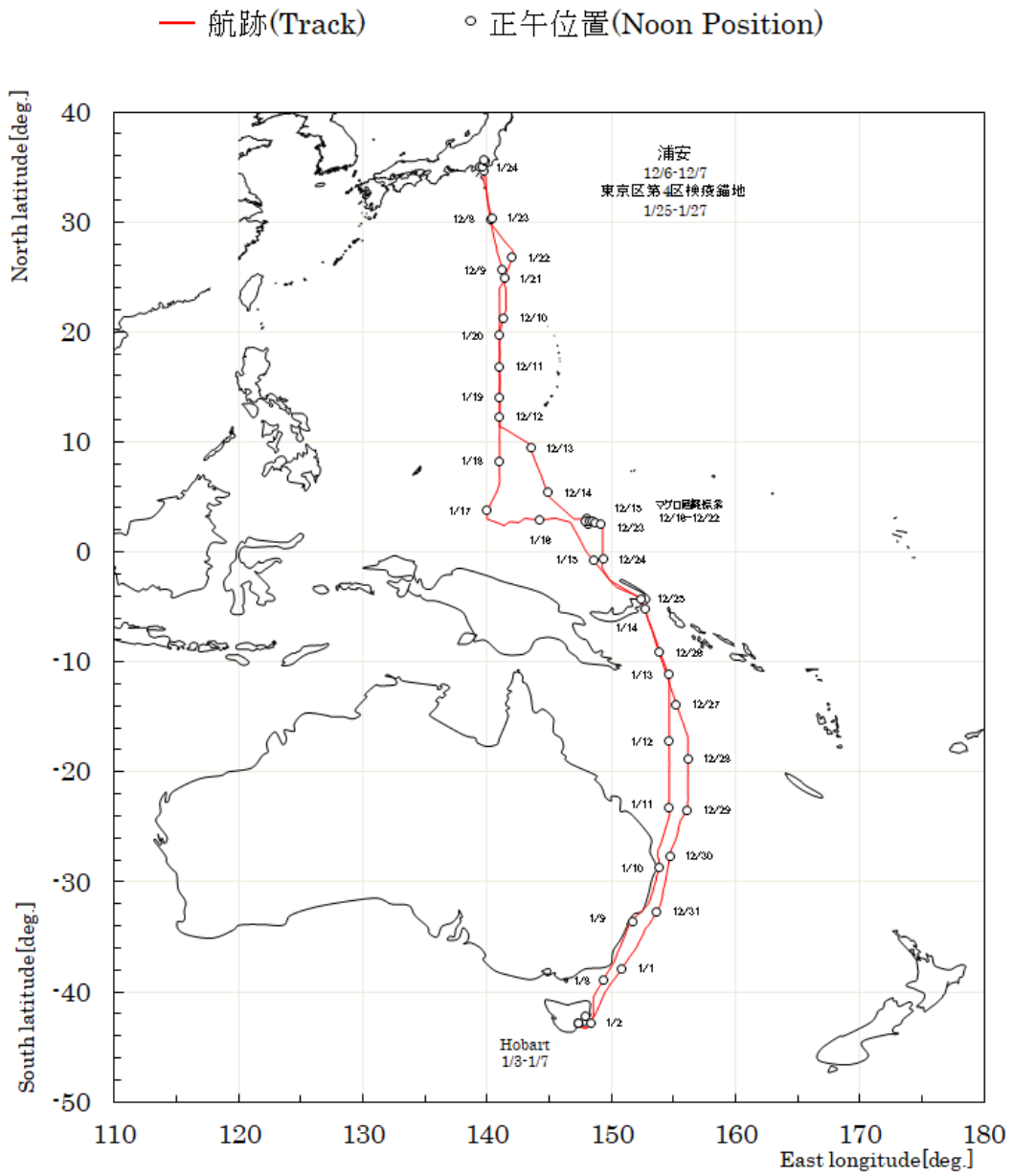


Fig. 4.1 航跡図 (Track Chart)

